

令和 7 年度 園経営計画 足立区立おおやたこども園

園長 小俣 春美

1 園の経営目標

- (1) 子どもの最善の利益を第一に考え、子どもや保護者、地域との信頼関係を築き、『共育』を進めていくことで子どもや保護者にとって安心して自分の思いが出せる園づくりを進める。
- (2) 深い愛情、様々な出会い、かかわり合いを通して「かんじるころ」「かかわるよろこび」「やりぬくつよさ」をもった子どもを育てる。
- (3) 人権尊重の理念に立ち、専門性の学びを活かし、子どもの健全な発達を図る。

2 園の現状

- (1) 登園後は、子ども自身が遊びを見つけ、遊ぶ場所や物を選んで主体的に遊んでいる。
- (2) 園全体で子どもを受け止め、温かな関わりを意識しているため、のびのび遊ぶ姿が見られる。
- (3) 室内外に身近な自然を取り入れた遊び、見立て、つもり遊びや運動遊びといった、子どもの「やりたい」を引き出す遊びを、クラスや他の学年の友達と一緒にすることで意欲や思いやり、協同的な学びにつながっている。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んで いきたい事項－1	自分自身を大切にし、他者も大切に思える気持ちを育てる。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 温かな関心を寄せ、肯定的な言動で関わる。	ア 子ども自身が「自分は大事にされている」と感じ「自分は自分でいい」と思えるよう子どもの人権を尊重し、温かな関わりや言葉かけをしていく。
(2) 子どもとの対話を大切にし、一人一人の思いを受け止める。	ア 子どもの思いを丁寧に聴き、それぞれの思いを受け止めたり真意を汲み取ったりしていくことで安心して思いを表出できるようにしていく。
重点的に取り組んで いきたい事項－2	自分で「やりたい」ことを見つけ、存分に夢中になって遊ぶ中で主体性を育み、心も体も健康な子どもを育てる。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 子どもの「やりたい」思いが発揮できる環境づくりをする。	ア 日々の子どもの姿や対話から興味、関心を探り、また発達過程も見据えて環境構成し、満足するまで遊ぶ時間の保障をしていく。 イ 子どもの姿を見守り、タイミングよく応答的に関わっていく。 ウ 絵本、運動、音楽のプロジェクトを計画的に実施し、それぞれの視点で子どもがワクワクするような活動の工夫や環境構成をしていく。
重点的に取り組んで いきたい事項－3	園全体で学び合い、保育の質を向上させる。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 研修や園内研究での学びを共有し、保育実践に活かす。	ア 園内研究を実施し「子どものやりたい思いが発揮される保育環境と保育者のかかわり」をテーマに年3回程度、有識者から講義を受け、学びを深める。 イ 年に3回園内で事例の検討会を実施し、実践していく。 ウ 子どもの人権について年3回、一人一人がチェックリストを活用し確認するとともに全職員で共有していく。

